



世界に希望を生み出そう

2023～2024

THE ROTARY CLUB OF PORT NAGOYA

Weekly Report

名古屋みなと

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30

例会場 名古屋マリオットアソシアホテル

事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023

E-Mail office@portnagoya-rc.com

URL http://www.portnagoya-rc.com

会長 柳澤 謙次 幹事 藤掛 誠一郎

広報・雑誌・会報委員長 野崎 修

CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう R.I. 会長 ゴードン・R・マッキナリー



第 2679 回例会 No.9

2023 年(令和 5 年) 9 月 15 日(金) 晴

「奉仕の理想」

敬老例会

出席報告

会員 59 名中 42 名 出席率 71.18%

敬老の日を迎えられる会員様
心からお祝いを申し上げます

山 田 胖	酒 井 優
中 村 吉 夫	梅 田 武 久
岡 本 善 博	菅 栄
早 瀬 謙 行	岩 佐 信 機
吉 田 利 男	加 藤 茂 春
渡 邊 健 吉	遠 藤 武 夫
高 橋 勝 也	市 野 文 俊
	(敬称略)

会長 お祝の言葉

会長 柳澤 謙次君



皆さんこんにちは。今日のみなとの例会は昔であれば、ぴったりと敬老の日と一致した例会でしたが、今では「敬老の日」は9月の第3月曜日と決まったので、少しずれました。昔、兵庫県多可郡多可町で「年寄りを大切に、年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう」という趣旨で村主催の「敬老会」を開催したのが始まりだといわれています。これはまったく我がロータリークラブでも同じことが言えます。

今は時代の変化だ、国際化だ、デジタル化だ、とかで昔の大事なことが忘れられています。先輩たちがこれは伝えておかねばならないと思うことは、ぜひ伝達してほしいと思います。それが大きな先輩たちの使命だと思います。

それともう一つ、これは私だけではなく同じことを思っている会員がたくさんいると思いますが、先輩たちは先輩と同じ年になったら、そしてロータリーにいれば先輩たちと同じように、かつこよく、楽しい毎日がすごせる見本です。

先輩たちのロータリーでの存在感はとても大きいです。もっともっと輝いてくれることを期待してご挨拶とさせていただきます。

入会式

嶋田 憲三君



氏 名 嶋田 憲三・しまだ けんぞう

生年月日 1971 年 5 月 24 日 52 歳

紹介者 高田 和裕・野崎 修

事業所 ソニー生命保険株式会社

〒461-0005

名古屋市東区東桜 1-1-1

アーバンネット名古屋ネクスタビル 12F

職業分類 保険代理

趣味 登山

カウンセラー 芹澤 謙一

皆さま、はじめまして。

この度、この歴史と伝統のある名古屋みなとロータリーに入会することができ、たいへん嬉しく思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

私はソニー生命保険株式会社に部長をしております嶋田憲三と申します。

右も左も分かりませんが、できるだけ毎回出席して早く皆さまと親しくなれたらと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

ニコBOX

(敬老例会。シニアのみなさんの輝きが僕らの希望です。ぜひがんばってください) 柳澤会長

(敬老会員の皆さん、本日はおめでとうございます。いつまでもお元気で、お身体をご自愛ください。山川君、梅田君、お仕事を追加していただきありがとうございます。藤原君、先日はバンテリンドームにご招待いただきありがとうございます。昨日アレが達成できましたね) 藤掛幹事

(敬老例会お祝いありがとうございます) 岩佐君
(敬老の日をお祝い頂きありがとうございます)

吉田(利)君
(僕の友人の嶋田君が入会します。よろしくお願いします) 高田君

(敬老例会お祝いありがとうございます) 遠藤君
(多数のドラゴンズファンの皆様には大変恐縮ですが、阪神タイガースが優勝しました。藤掛幹事と一生懸命応援したかいあり昨夜は美酒を味わいました。しかしながら飲みすぎて深夜に転倒して顔面10針縫う始末となり、良いやら悪いやら思い出の1日となりました) 藤原君

(敬老例会お祝いありがとうございます) 市野君
(本日欠席で申し訳ありません。私が初めて面談させて頂きました嶋田憲三君が、本日から入会されます。みなとRCをぜひ楽しんでください)

橋本(美)さん
(本日から入会させていただきます。どうぞよろしくお願いします) 嶋田君
(遅刻しました) 山田(章)君
(敬老会員のみなさま、本日はおめでとうございます) 親睦活動委員会一同

本日合計	32,000 円
累 計	716,000 円

幹事報告

藤掛 誠一郎君



1. 地区などの報告です。
9月8日 第1回ロータリー財団全委員会に猪子君・長瀬君が出席されました。
9月11日 クラブ公共イメージ向上委員長会議に大矢君が代理出席されました。
9月12日 クラブ国際奉仕委員長会議に市野君がされ

ました。ありがとうございます。

2. 来週、9月23日(土)10時から名古屋掖済会病院でブラック・ジャック体験が開催されます。クラブから30名を超える参加のご希望をいただき、あり

がとうございます。当日は病院なのでマスク必須となります。ご準備ください。当日来ていただく方は、見に来るだけの方でも本日購入していただきました T シャツをできるかぎり着て来てください。また本日皆さんに配布しましたボールペンですが、当日来場者に配布します。よろしくお願いいたします。

以上です。

お祝いの言葉

長谷川三郎君



皆様こんにちは 来月で入会1年になります長谷川です。

敬老会員の皆様本日こうして元気に敬老の日を迎えられた事に心よりお祝い申し上げます。

今年の敬老会員は14名 そして入会30年以上の方が7名と御聞きしております。長きにわたる社会奉仕、社会貢献に頭が下がる思いです。

私の父でロータリアンであった、長谷川嘉和ですが、1996年にみなとロータリークラブに入会し53年間在籍しておりました。

長きにわたりロータリアンとして活動出来たのはひとえに皆様方との絆と【歴史と伝統ある みなとロータリークラブ】この言葉の重みだと思っております。我々新人会員が楽しく例会に参加させて頂いているのは、こうした人生の大先輩である皆様方の何気ない笑顔や会話から伝わる思いやりや心遣いが励みになっております。心から感謝申し上げます。

人生を年代別に40代フル回転時代、50代黄金時代、60代マイペース時代、70代老後シフト時代と例えられていますが毎回受付で拝見する皆様の明るい笑顔とお声がけ、表情や会話などから、今回の大先輩方はこの例えにどうも当てはまらない40代50代のフル回転黄金時代じゃないかと感じています。

(私自身もっと努力しないと、と大変刺激になっております)

どうぞ、これからも我々をロータリアンとして人生の師としてご指導 ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

最後に大先輩の皆様方の御健勝と益々の御活躍を祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます 本日は誠にありがとうございます。



僭越ではございますが、会員を代表して「お祝いの言葉」を述べさせていただきます。

敬老会員の皆さま、本日はおめでとうございます。

いつも地域、社会、名古屋みなとロータリークラブのために奉仕なさいます皆さまのお姿には深く敬服いたします。

私も名古屋みなとロータリークラブに入会して一年ほどが過ぎました。未だ若輩者ですが大先輩でもある皆さまの温かな目配り、気配りで素晴らしいロータリー生活を送っております。

さて、来週月曜日が敬老の日となっており、「敬老の日」は、基は「老人の日」や「としよりの日」ともよばれていたそうですが変わって現代にいたるそうです。ここで注目すべきは「敬う」という文字が使われたことと思います。辞書で調べますと「敬う」は対象が高位のもの、上位のものに礼を尽くす意味で、「神仏を敬う」などに使われるわけです。ここで言う「礼を尽くす」とはなにかこちらは最後にご説明します。

私が思うに年をとるとは歴史を刻むことではないでしょうか。「ローマの道も一日にして成らず」といまいしょうか物事は一歩ずつ、一年ずつの積み重ねによって歴史が作りあがるわけです。皆様がいるからこそここに我々がいるのだと。

歴史と伝統と言う言葉は一日、一年では使うことはできません。名古屋みなとロータリークラブも昨日今日できたわけではありません。ここまで続けて来られたのも本日敬老会員の皆様がどんな時でも会を続けてきた結果であり歴史なわけです。敬老例会は長年名古屋みなとロータリークラブを支えて下さった敬老会員の皆様に敬意、また、歴代の会員の皆様がつないできた歴史と伝統ある名古屋みなとロータリークラブに育てて繋いできていただいたことへ敬って礼を尽くす日なのだと私は思います。

改めて心から感謝申し上げます。

そして、これからも暖かく、時には厳しく、ご指導賜りますよう、そして大先輩の皆様が築いた歴史と伝統ある名古屋みなとロータリークラブを盛り上げるよう尽力してまいります。

皆様のご健康、ご健勝、そしてご活躍を祈念致しまして私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



皆さん、本日はお祝いをして頂き誠にありがとうございます。振り返ってみるとこの75年、このお祝いが嬉しいのか、もうそういう年になってしまったのだという、そしてまたここまで無事に生きてきたというのがあります。

私は、6～7年前に吉田(利)君、今日欠席ですが芹澤君のお二人の紹介で入会させて頂き、後半の人生がすごく充実し、喜んでおります。仲間もたくさん増えて、こんな年の人間でも遊んでいただき、本当に感謝しております。

一番最近では、去年がんが見つかって、菅先生に紹介状を書いてもらって、背中を押していただいて、去年から抗がん剤とか色々苦しい時期を乗り越えてきました。これも掖済会病院の今の院長は北川君ですが、その時の河野院長に大変お世話になって命が助かったと思って感謝しております。

とにかく皆さん、健康は本当に気を付けてください。自分でつくづく思ったのですが、やっぱり検査を受けて、このクラブには強い味方の掖済会病院がついております。私は、ステージⅡで、抗がん剤でいけるかなと思ったら、全摘出と言われて、「ええ！」と思いましたが、河野先生達に背中を押していただいて不便もありますが、命を選択したという事です。

やっぱり、皆さん、検査を受けて下さいね。仲間がいるということは、電話をいただいたり、激励のメールをいただいたり、ロータリーに入って自分は本当に、がんさえなかったら、こんなハッピーは無かったなと思いました。このロータリーのおかげで、毎週金曜日にまた仲間と会える。その割にはロータリーの事を勉強していなくて反省しております。

最近ボケてきて、名前を覚えられなくて、ちょっと寂しいです。大人しい運転になり免許証の更新で初めてゴールドカードを頂きました。こんな僕と若い人が一緒に遊んで頂けることは本当に感謝しております。私は、身障者4級ですから、もうちょっと皆さん、大事に扱ってください。駐車場のどこでも置いていいやつは、頂けませんでした。あれは、もうちょっと重症の方しかダメだという事です。だけど、袋とか色々医療に関するものは、市から福祉という事でお世話になっております。皆さんの税金の一部を使っておりますけどよろしくお願いします。

自分はロータリーに入って、本当に幸福を感じて、敬老の挨拶に相応しくないかもわかりませんが、皆さんと一緒に活動する事が、本当に今の自分にとっては、本当に幸せです。吉田君、芹澤君に、この年になって「おい芹澤」「おい市野」と呼び捨てにできる仲間と再会できたという事は、自分にとってはすごく幸せなことだと思います。

簡単ではありますが、くれぐれも本当に身障者でありますから、よろしくお願いします。お礼の言葉に代えさせていただきます。



B グループ家庭集会報告

とき 令和 5 年 9 月 15 日 18 : 00 ~
 ところ 神楽家 (かぐらや)
 名古屋市東区東桜 1-10-6
 リーダー 鈴木 (報告者)
 出席者 早瀬、吉田 (利)、寺本、
 猪子、北川 6 名 (敬称略)

会の前に次年度名古屋名南ロータリークラブの会長でもある神楽家の女将さんがみえて挨拶。私達は名古屋みなとロータリークラブの家庭集会の歴史などを彼女に説明しました。

早瀬君の乾杯で始まり、テーマは「プライドを持って楽しいロータリーにするには」ということで自由闊達に飲み放題のお酒もあり話が弾みました。親睦が第一は一致した意見でした、また情報交換の中で北川掖済会病院医院長から 2~3 年に一度は PET 健診を受けた方がいいという話がありました。楽しい時間もあっという間に過ぎ 8 時半頃の散会となりました。



名古屋中央ローターアクトクラブ例会出席報告

とき 令和 5 年 9 月 17 日 (日)
 ところ 緑の散歩道
 (名古屋市立山田中学校前)
 みなと RC 出席者 福西 康和君、大平 剛君



松江ロータリークラブ例会参加報告

12 月 10 日~11 日の家族旅行会の下見を兼ねて、9 月 20 日 (水) 島根県の松江ロータリークラブ例会に、棚橋会長エレクト・藤掛幹事・久留宮親睦委員長・藤原君・山田章博君で参加してきました。

松江ロータリークラブは今年 70 周年を迎えるクラブで、人数は名古屋みなとロータリークラブと同じくらいでした。会場でのリアル開催とオンラインで参加している会員がいました。

棚橋会長エレクトから挨拶をし、松江ロータリークラブの佐藤会長とバナー交換をしました。島根県出身の藤原君の先輩・後輩などお見えになり、とても和やかな雰囲気、心地よい歓迎をしていただきました。





ブラック・ジャック体験

とき 令和5年9月23日(土・祝)
ところ 名古屋掖済会病院







3. まもなく米山月間資料が届きます (9/20 発送)

10月はいよいよ米山月間です。今年も米山月間用資料を全国の皆さまへお届けします。
毎年恒例の『豆辞典』は、米山記念奨学事業についての情報がほぼ網羅されている小冊子です。会員数分お送りしますので、ぜひ1人1冊お手元にお持ちください。豆辞典を使って米山奨学事業を説明するためのパワーポイントは、

9月13日に当会HPでも公開しました。そのほか「クラブ米山記念奨学委員長の手引き（寄付金・ニュースアル合併版）」「2022年度事業報告書」「2022年度決算報告」を送付します。追加資料のお申し込みは、同封の「追加資料申込書」に記入の上、お送りください。

4. 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —



8月までの寄付金は、前年同期と比べて36.5%増（普通寄付金：2.6%減、特別寄付金：113.6%増）、約1億670万円の増加となりました。当会は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けており、当会への寄付は所得税、法人税の税制優遇が受けられ、相続税も非課税となります。今年度からは、特別寄付金が新たに50万円に達した方へピンバッジ（銀色）を贈呈します。10月の米山月間も引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

5. モンゴルの地で感じた米山奨学事業の成果

先月5日に開催された米山学友による世界大会「再会 in 関東」では、多くの学友とロータリー会員が再会を喜びあう場面が見られました。今回は、モンゴルの地で学友と「再会」を果たした会員の話を紹介します。

7月1日、国際ロータリー第2680地区淡路三原RCの国際奉仕委員長を務める奥井正造会員が、モンゴル米山学友会のバグワ・ボヤンジャルガルさん（2016-19/淡路三原RC）を訪ねるため、5人の会員と共にモンゴルを訪ねました。

奥井会員とボヤンさんとの出会いは、同クラブが2016年に世話クラブとなったこと。当時、日本へ来た理由を尋ねると、「博士号を取得して、保健師になりたい。モンゴル人は朝昼晩ずっとお肉を食べるため、中高年になると肥満になり、長生きできない。医療の力で生活習慣病を改善し、モンゴル人の平均寿命を5歳延ばしたい」とのこと。この志の高さに感銘

を受けた奥井会員やクラブ会員たちは、その時からずっと彼女を熱心に応援してきました。

そして今回、奥井会員はモンゴルでボヤンさんと再会。時間を忘れるほど話が弾んだそうです。招待されたボヤンさんの家では、お母さんがとても嬉しそうに出迎えてくれ、家族勢ぞろいで机いっぱいの料理が並び、盛大な会となったそうです。

帰国した奥井会員は、「私は、日本で自らの力を高め、自国の発展の力になりたいと志す奨学生を応援することが米山奨学事業の醍醐味だと考えています。その成果をモンゴルで見せてもらえました。学友会に入会し、日本との絆を保つ

うとしている学友たちの健気さが心に響きました。そして、私たちロータリーアンが思っている以上に、学友のご家族は米山奨学事業に感謝しているんだな、と感じました」と、ボヤンさんたちと過ごした時間を振り返りました。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当: 長尾(ながお)



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

Vol. 282
2023年9月13日発行

1. 理事会と評議員会を開催

8月22日に第40回理事会を都内会議室にて開催しました。当日は、全国から30人の理事、3人の監事、計33人の出席となりました。若林紀男理事長が議長として進行役を務め、第1号～第10号の全ての議案につき、原案通り承認可決されました。



第40回理事会の主な議案は、「評議員候補者」「理事後任候補者」「定款変更」「2022年度事業報告」「2022年度計算書類」「2023年度収支予算書一部修正」「2023年度専門委員選任」の件、などでした。

また、9月7日には第15回定時評議員会を開催しました。今回の定時評議員会は台風接近の

影響を懸念し、ハイブリッド形式で開催されました。全国から評議員25人（うち4人がオンライン）、役職理事6人と監事3人が出席しました。定款により、評議員会の議長は、出席評議員の中から選ばれることになっており、第2750地区の猿渡昌盛評議員が議長に選出されました。

猿渡議長の進行で、報告事項として、①理事会決議報告 ②職務執行の状況報告 ③2022年度事業報告が資料に基づき説明され、続いて理事会から上程された「評議員の選任」「後任理事の選任」「定款変更」「2022年度計算書類承認」など7議案が諮られ、全て原案通り承認可決されました。また、評議員会終了後、4年の任期を終える評議員に、若林理事長から感謝状が贈呈されました。



2. 学友の力を母国に還元「教育プログラム」開催

8月26日、マレーシア米山学友会の主催で、第1回「MYRYA（マレーシア米山学友会）教育プログラム」がオンラインで開催されました。このプログラムは、同学友会会員の個々の知識や技術を社会に還元していくこと、受講者に社会貢献への意識を高めてもらうことを目的としています。



「オンライン授業を終えて記念撮影」

今回は「日本語をボランティアで教える人材育成」をテーマに、日本の総合商社で18年勤務し、10年以上にわたってマレーシアの学生に日本語をボランティアで教えている経験豊富なチン ワエン サンさん（1994-96/東京国分寺RC）

が講師を担当。参加した20人の受講者に向けて、「どのように学生の興味を惹くか」「どのように学習意欲を引き出すか」「どのようにリーディングやスピーキングの技術が得られるか」など、日本語を教えるために必要な基礎スキルについて約1時間半の講義を行いました。マレーシアの中学・高校には日本語クラブが多数存在しており、同学友会では、「日本語学習や日本文化への興味関心が高い学生たちの力になりたい」という思いで精力的に活動を行っています。

月	日	今後の例会予定
9	28	例会変更 ガバナー公式訪問 9/28（木） 名古屋丸の内 RC 合同例会 名古屋クレストンホテル
10	6	港友例会 17F「コスモス」
	13	休会
	20	例会変更 家族旅行会 12/10～11
	27	卓話 元 NHK アナウンサー 三宅 民夫氏 17F「コスモス」
11	3	休会
	10	例会変更 地区大会 11/11～12
	17	港友例会 17F「コスモス」
	24	休会